

関係各位

薬局だより

薬剤部 医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

1) 新規採用薬品

- ・全科採用:該当なし
- ・診療科限定採用薬品(仮採用:6ヵ月後に再審議):下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
麻酔科	生食シリンジ50mL「ニプロ」(薬価:253/筒)	1筒(50mL):日本薬局方塩化ナトリウム 0.45g	ニプロ	注射:通常20~1,000mLを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 適量を取り注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。 外用:皮膚・創傷面・粘膜の洗浄、湿布に用いる。 含そう、噴霧吸入に用いる。 その他:医療用器具の洗浄に用いる。	細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤 皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進 医療用器具の洗浄
心臓血管外科	イグザレルト錠2.5mg(薬価:117.80/錠)	1錠:リバーロキサバン 2.5mg	バイエル	通常、成人にはリバーロキサバンとして2.5mgを1日2回経口投与する。	下肢血行再建術施行後の末梢動脈疾患患者における血栓・塞栓形成の抑制
血液腫瘍内科	ヨンデリス点滴静注用 0.25mg・1mg(薬価: 0.25mg=49,376/瓶、 1mg=198,211/瓶)	1瓶(0.25mg):トラベクテジン0.25mg 1瓶(1mg):トラベクテジン 1mg	大鵬薬品	通常、成人にはトラベクテジンとして1回1.2mg/m ² (体表面積)を24時間かけて点滴静注し、少なくとも20日間休薬する。これを1サイクルとして、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。	悪性軟部腫瘍
小児科	リドメックスコーワローション0.3%(薬価: 10g=133/本、 15g=199.5/本)	1g:プレドニゾン 吉草酸エステル 酢酸エステル3mg	興和	通常1日1~数回、適量を患部に塗布する。 なお、症状により適宜増減する。 また、症状により密封法を行う。	湿疹・皮膚炎群(進行性指掌角皮症、ピダール苔癬を含む)、痒疹群(固定じん麻疹、ストロフルスを含む)、虫さされ、乾癬、掌蹠膿疱症
小児科	プレドニン眼軟膏(薬価:221/5g1本)	1g:プレドニゾン酢酸エステル2.5mg	塩野義製薬	通常、1日数回、適量を塗布する。 なお、症状により適宜増減する。	外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症)

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
頭頸部 外科	アキラルックス点滴静注 250mg(薬価1,026,825: 瓶)	1瓶(50mL):セツキシマ ブ サロタロカンナトリウ ム(遺伝子組換え) 250mg	楽天 メディカル	通常、成人にはセツキシマブ サ ロタロカンナトリウム(遺伝子組換 え)として、1日1回640mg/m ² (体 表面積)を2時間以上かけて点滴 静注する。点滴静注終了20~28 時間後にレーザー光を病巣部位に 照射する。	切除不能な局所進行又 は局所再発の頭頸部癌
集中 治療部 NICU	プレセデックス静注用液 200μg「ファイザー」(薬価 2,764:瓶)	1瓶(2mL):デクスメド ミジン塩酸塩 236μg (デクスメドミジンとして 200μg)	ファイザー	<p><集中治療における人工呼吸中 及び離脱後の鎮静> 通常、成人には、デクスメドミジ ンを6μg/kg/時の投与速度で10 分間静脈内へ持続注入し(初期負 荷投与)、続いて患者の状態に合 わせて、至適鎮静レベルが得られ る様、維持量として0.2~0.7μ g/kg/時の範囲で持続注入する (維持投与)。また、維持投与から 開始することもできる。 通常、6歳以上の小児には、デク スメドミジンを0.2μg/kg/時の投 与速度で静脈内へ持続注入し、 患者の状態に合わせて、至適鎮 静レベルが得られる様、0.2~1.0 μg/kg/時の範囲で持続注入す る。 通常、修正在胎(在胎週数+出生 後週数)45週以上6歳未満の小児 には、デクスメドミジンを0.2μ g/kg/時の投与速度で静脈内へ 持続注入し、患者の状態に合わ せて、至適鎮静レベルが得られる 様、0.2~1.4μg/kg/時の範囲で 持続注入する。 なお、患者の状態に合わせて、投 与速度を適宜減速すること。</p> <p><局所麻酔下における非挿管で の手術及び処置時の鎮静> 通常、成人には、デクスメドミジ ンを6μg/kg/時の投与速度で10 分間静脈内へ持続注入し(初期負 荷投与)、続いて患者の状態に合 わせて、至適鎮静レベルが得られ る様、維持量として0.2~0.7μ g/kg/時の範囲で持続注入する (維持投与)。なお、患者の状態に 合わせて、投与速度を適宜減速 すること。</p>	<p>○集中治療における人 工呼吸中及び離脱後の 鎮静 ○局所麻酔下における 非挿管での手術及び処 置時の鎮静</p>
口腔外科	オーラ注歯科用カート リッジ1.8mL (薬価73.20:管)	1管(1.8mL):(日局)リド カイン36mg(リドカイン塩 酸塩として) アドレナリン酒石酸水素 塩0.045mg	ジーシー 昭和薬品	<p>浸潤麻酔又は伝達麻酔には、通 常成人0.3~1.8mLを使用する。口 腔外科領域の麻酔には3~5mLを 使用する。 なお、年齢、麻酔領域、部位、組 織、症状、体質により適宜増減す るが、増量する場合には注意す ること。</p>	歯科領域における浸潤 麻酔又は伝達麻酔

2) 診療科限定追加薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
小児外科	ブコラム口腔用液2.5mg・5mg(薬価: 2.5mg=1,125.80/筒、5mg=1,977.80/筒)	1筒(0.5mL) :ミダゾラム2.5mg、 1筒(1.0mL) :ミダゾラム5mg	武田薬品	1. 本剤のシリンジ液剤の全量を片側の頬粘膜に緩徐に投与すること。体格の小さい患者や用量が多い場合は、必要に応じて両側の頬粘膜に半量ずつ投与すること。 2. 保護者又はそれに代わる適切な者が本剤を投与する場合は、1回分(シリンジ1本)のみの投与とするよう指導すること。[8.4.4参照] 3. 本剤は頬粘膜より吸収されるため、投与時に可能な限り本剤を飲み込まないように注意すること。	てんかん重積状態
小児外科 NICU	リドカイン塩酸塩注0.5%「日新」10mL(薬価:66/管)	1管(10mL):リドカイン塩酸塩50mg	日新製薬	通常、成人に対してリドカイン塩酸塩として、1回200mg(0.5%注40mL)を基準最高用量とする。ただし、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減する。	硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、上肢手術における静脈内区域麻酔
救急科	ホスリボン配合顆粒(薬価:71.20/包)	1包(0.48g):リンとして100mg、成分としてリン酸二水素ナトリウム一水和物330mg及び無水リン酸水素二ナトリウム119mg	ゼリア新薬	通常、リンとして1日あたり20~40mg/kgを目安とし、数回に分割して経口投与する。以後は患者の状態に応じて適宜増減するが、上限はリンとして1日あたり3,000mgとする。	低リン血症
循環器内科	ミネプロ錠2.5mg(薬価:91.60/錠)	1錠:エサキセレン2.5mg	第一三共	1. 本剤の投与中に血清カリウム値が5.0mEq/Lを超えた場合には減量を考慮し、5.5mEq/L以上の場合は減量ないし中止し、6.0mEq/L以上の場合には直ちに中止すること。 2. 中等度の腎機能障害(eGFR 30mL/min/1.73m ² 以上60mL/min/1.73m ² 未満)のある患者及びアルブミン尿又は蛋白尿を伴う糖尿病患者では、1.25mgを1日1回投与から開始し、血清カリウム値など患者の状態に応じて、投与開始から4週間以降を目安に2.5mgを1日1回投与へ増量する。効果不十分な場合は、5mgまで増量することができる。	高血圧症

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
脳神経内科	クラシエ抑肝散加陳皮半夏エキス顆粒(薬価:13.4/g)	1日量(7.5g):日局ハンゲ5.0g・日局ビャクジュツ4.0g・日局ブクリョウ4.0g・日局センキュウ3.0g・日局テンピ 3.0g・日局トウキ 3.0g・日局サイコ 2.0g・日局カンゾウ1.5g・日局チョウトウコウ3.0g 上記の混合生薬より抽出した抑肝散加陳皮半夏エキス粉末5,000mg	クラシエ薬品	通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。 なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症 神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症
糖尿病内分 泌内科	フェインジェクト静注500mg(薬価:5,969/瓶)	1瓶(10mL):カルボキシマルトース第二鉄を鉄として500mg	ゼリア新薬	通常、成人に鉄として1回あたり500mgを週1回、緩徐に静注又は点滴静注する。総投与量は、患者の血中ヘモグロビン値及び体重に応じるが、上限は鉄として1,500mgとする。	鉄欠乏性貧血

3) 診療科限定再審議薬品(本採用結果)

- ・エスジェンラ皮下注ペン:診療科限定(小児科)のみ
- ・ピヴラツ点滴静注液150mg:診療科限定(3科:脳外、脳内、集中)のみ
- ・ケレンディア錠10mg:診療科限定(腎内)のみ
- ・オゼンピック皮下注2mg:診療科限定(DM内科)のみ
- ・オンデキサ静注用200mg:2022年6月より全科採用へ
- ・サムタス点滴静注用8mg:診療科限定(2科:循内、集中)のみ

4) 販売/供給中止・回収・出荷調整等に伴う変更(在庫なくなり次第変更予定)

- | (変更前薬品名) | | (変更後薬品名) |
|--------------------------|---|----------------------------|
| ・逆性石ケン液0.1「ヨシダ」(5L包装) | → | ザルコニン液0.1(5L包装) |
| ・【患者】ネリプロクト軟膏 | → | 【患者】ネリザ軟膏 |
| ・ネリプロクト坐剤 | → | ネリザ坐剤 |
| ・【科】トリセノックス注10mg(アンプル製剤) | → | 【科】トリセノックス点滴静注12mg(バイアル製剤) |
| ・トアラセット配合錠「マルイシ」 | → | トアラセット配合錠「トーワ」 |
| ・ロペラミド塩酸塩錠1mg「EMEC」 | → | ロペラミド塩酸塩カプセル1mg「サワイ」 |

5) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

- ・エクセラーゼ配合錠 :販売中止のため削除
- ・【患者】シメチジン錠200mg「YD」 :販売中止のため削除
- ・ジソピラミドカプセル50mg「ファイザー」 :販売中止のため削除
- ・アナフラニール錠25mg :期限切れのため削除

6) 採用区分/剤型変更等

① 剤型変更/規格変更/規格追加(在庫なくなり次第変更予定)

- ・イントラリポス輸液10%250mL→イントラリポス輸液20%100mLへ規格変更

② 採用区分変更

【全科採用】→【患者限定】へ変更

- ・ベルソムラ錠15mg・20mg
- ・ゾピクロン錠10mg「トーワ」
- ・トフラニール錠10mg

【診療科限定】→【患者限定】へ変更

- ・カボメティックス錠20mg・60mg

7) 後発品へのへ変更(在庫なくなり次第変更予定)

① 先発→後発

- ・フェンタニル注射液0.25mg・0.1mg「第一三共」→フェンタニル注射液0.5mg・0.1mg「テルモ」
 - ・シムビコートタービューヘイラー60吸入→ブデホル吸入粉末剤60吸入「ニプロ」
 - ・ヒュミラ皮下注40mgペン→アダリムマブBS皮下注40mgペン「第一三共」
- ※適応相違あるため、ヒュミラ皮下注40mgペンは全科→患者限定へ変更し、採用継続
- ・ミルリーラ注射液10mg→ミルリノン注10mg「タカタ」